

中央可鍛工業株式会社日進機械工場の事業適応計画のポイント

2022年1月31日

- 同社では、温室効果ガスの排出抑制への対応を最重要課題と位置づけ活動している。
- 今回の事業においては、従来より使用電力量が少なく、かつ生産効率の高い機械加工機を導入することで炭素生産性の向上を図る。
- また、再生可能エネルギー由来の電力を導入することにより、さらなる炭素生産性の向上を図ることを目標とする。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年1月 ~ 2024年3月

2. 生産性向上目標

事業者全体で炭素生産性を11%向上させる。

3. 前向きな取り組みの内容

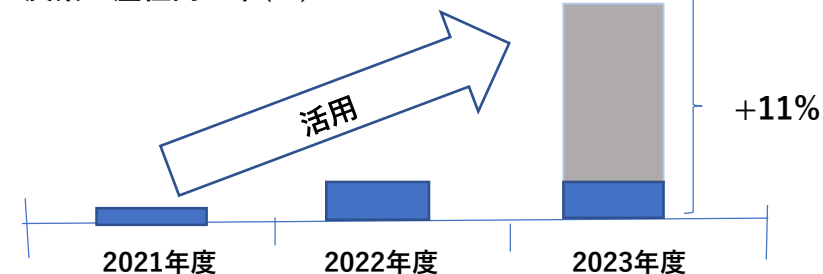
日進工場に導入する鋳物粗材の切削加工機群からなる機械加工ラインにおいて、従来より省エネかつ生産効率の高い機械加工ラインを導入するとともに、再生可能エネルギー由来の電力を導入することで、事業者全体の炭素生産性を11%向上させる。

4. 支援措置

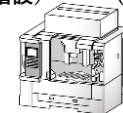
税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容イメージ>

・炭素生産性向上率(%)

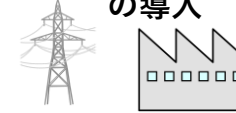


生産工程の脱炭素化
(1ライン増設)



- ・省エネタイプの加工機導入
- ・マシンタイムの短縮
- ・送り速度アップなど

再生可能エネルギー
の導入



電力会社より再生可能
エネルギーを購入
(2023年4月~)

・上記に加え日常改善の推進